

期日●平成30年12月16日〔日〕 時間●13時開場／13時30分開演  
会場●鶴岡市先端研究産業支援センター（鶴岡メタボロームキャンパス）レクチャーホール

# 鶴岡みらい健康調査セミナー

## がんになっても自分らしく 生きる、働く、暮らしていくために



●お問い合わせ  
鶴岡地区医師会：TEL 0235-22-0136  
慶應義塾大学先端生命科学研究所：TEL 0235-29-0805  
鶴岡市政策企画課：TEL 0235-25-2111 内線524

### ●プログラム

13:30 ●ご挨拶 土田兼史氏 [鶴岡地区医師会 会長]

13:40 ●基調講演

**がん診断後の就労継続：  
患者さんができること。周りの人々ができること。**

土屋 雅子氏 [国立がん研究センター がん対策情報センター がんサバイバーシップ支援部研究員]

**35歳でがんになったパパの話**

西口 洋平氏 [一般社団法人がんサバイバーシップ代表理事]

14:55 ●鶴岡みらい健康調査からのご案内

15:05 休憩

15:15 ●パネルディスカッション

**がんとともに働く～庄内地域の取り組み～**

モデレータ

和泉 典子氏 [鶴岡市立荘内病院 内科・緩和ケアチーム医師／日本医師会認定産業医]

パネリスト

佐藤 弘子氏 [特定社会保険労務士／山形産業保健総合支援センター 両立支援促進員]

五十嵐 真実氏 [慶應義塾大学先端生命科学研究所 からだ館スタッフ]

土屋 雅子氏

西口 洋平氏

16:20 ●閉会挨拶に代えて「鶴岡サイエンスパークの1年」

富田 勝氏 [慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長]

16:30 終了予定

### ●プロフィール



土屋 雅子氏

国立がん研究センター  
がん対策情報センター  
がんサバイバーシップ支援部  
研究員

慶應義塾大学卒。

University of Southampton  
(MSc, PhD)。英国心理学会。  
Chartered Psychologist。

日本健康心理学会専門健康心理士、国内外の医学・看護学の大学・大学院教育に従事し、がん経験者の方の心理社会的影響に関する研究に取り組む。2015年より国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部研究員。



西口 洋平氏

一般社団法人  
がんサバイバーシップ  
代表理事

一般社団法人がんサバイバーシップ代表理事、厚生労働省がん対策推進協議会委員。1979年生まれ、大阪府出身。2015年2月、35歳の時にステージ4の胆管がんの告知を受け、周囲に同世代のがん経験者がいない状況で相談もできず、孤独感を抱く。そこで、自身と同じ境遇の仲間とつながることができるコミュニティサービス「がんサバイバーシップ～子どもをもつがん患者でつながろう～」(cancer-parents.com)を2016年4月にローンチ。現在も、週1回の抗がん剤治療を続けながら、会社での仕事と並行して活動中。

事前申し込みが必要です。 [締切]12/14 (金)17時 [定員]250名

鶴岡みらい健康調査セミナー 12/16

Web <http://www.ttck.keio.ac.jp/c-seminar.html>

お申し込み

E-mail [m-apply@iab.keio.ac.jp](mailto:m-apply@iab.keio.ac.jp) FAX 0235-29-0809

QRコードからも  
アクセスできます→



▼ウェブサイトからお申し込みいただくか、下記必要事項をご記入の上、ファックスまたはEメールでお申し込み下さい。

お名前●[ふりがな]

参加人数●[複数人でご参加の場合]

お電話番号●

ファックス番号●[FAXによるお申込みの方のみ]